

No.184

令和2年9月1日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



天災は忘れた頃にやってくる

【天災は忘れた頃にやってくる】

「天災は忘れた頃にやってくる」とは、自然災害はその被害を忘れたときに再び起こるものだという戒め。「天災」は「災害」と書かれることもある。

フリー百科事典 Wikipedia より

本日は防災の日。日本のいたるところで防災訓練が実施され、ニュース等で大きく報道されることでしょう。青陵中学校でも「あいち 100万人シェイクアウト訓練」に参加し、1分間のシェイクアウト訓練を実施します。いざというとき、先生がたも含め「しせいをひくく」「あたまをまもり」「じっとする」ことが自分の命を守ることにつながるという意識をもって、とっさの行動がとれるようにしたいものです。事前・事後の指導をよろしくをお願いします。



若い先生の中には、9月1日がどうして「防災の日」になっているのかご存じないかたもいるでしょうから、簡単におさらいしておこうと思います。

【関東大震災】

関東大震災は、1923年(大正12年)9月1日、午前11時58分32秒、神奈川県相模湾北西沖80kmを震源として発生したマグニチュード7.9、海溝型の大地震(関東地震)による災害である。

千葉県・茨城県から静岡県東部までの広い範囲に甚大な被害をもたらした。日本災害史上最大級の被害を与えた。190万人が被災、14万人余が死亡あるいは行方不明になったとされる。

地震の発生時刻が昼食の時間帯と重なったことから、136件の火災が発生した。大学や研究所で、化学薬品棚の倒壊による発火も見られた。加えて能登半島付近に位

置していた台風により、関東地方全域で強い風が吹いていたことが当時の天気図で確認できる。

〔フリー百科事典 Wikipedia より〕



地震による火災で焼け野原となった横浜市
(横浜市尋小学校より撮影)

「防災の日」は、関東大震災が起きたことに因み、内閣の閣議了解により1960年(昭和35年)に制定されました。「政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風、高潮、津波、地震等についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」啓発日で、9月1日を中心として、防災思想の普及、功労者の表彰、防災訓練等これにふさわしい行事が実施されます。

私が30歳を過ぎるまで、「震災」といえば「関東大震災」のことを指していました。昭和から平成に時代が移り、平成7年1月7日に「阪神・淡路大震災」が、平成23年3月11日に「東日本大震災」が起きたので、「震災」と言っただけではどの震災を指すのかわからなくなってしまいました。

現中学3年生の大半は、平成17年生まれです。ですから、私たちが日々対峙している中学生は、阪神・淡路大震災はおろか、東日本大震災の記憶もほとんど臆気なんでしょうね。

ともあれ、阪神・淡路大震災による犠牲者は6,434人、東日本大震災による犠牲者は、行方不明を合わせて18,430人ですから、犠牲者14万人の関東大震災の惨状は、想像を絶するものだったはずで